

# 会瀬 つちトマト

会瀬学区 HP <http://www.net1.jway.ne.jp/com-ose06/>

## 第 196 号

発行責任者：柴田 和彦  
編集責任者：皆川 直司  
電話：会瀬交流センター  
0294-25-1577  
印刷：大成印刷(株)

### 会瀬学区



開催日：9月12日(金)

## 三世代敬老の集い 会場：会瀬小体育館

主催：敬老の集い実行委員会 (午前9時30分開会12時閉会)

三世代が一堂に集い、多年にわたり社会につくしてきた人生の先輩のみなさんを敬い、長寿を祝う会が開かれます。会瀬学区コミュニティ推進会を中心として実行委員会を構成し実施したのは平成6年からですから今年は第21回にあたります。

本年も会瀬小学校、おおせ保育園、会瀬幼稚園のご協力をいただいております。

出席したくても足腰が不自由で会場までいけないという方がおられます。向こう三軒両隣、声をかけあい多くの方が参加できますよう地域のみなさんのご協力をお願いします。

開催日を忘れる場合もありますから前日や当日に一声かけてください。

敬老対象者の75歳以上(昭和15年4月1日までに生まれた者)の方が会瀬学区では765名です。実行委員会からお祝いのお菓子(カステラ)が参加者か代理者に贈られます。米寿者36名には県からの褒状が贈られます。おめでたいことに百歳以上の方が6名おります。

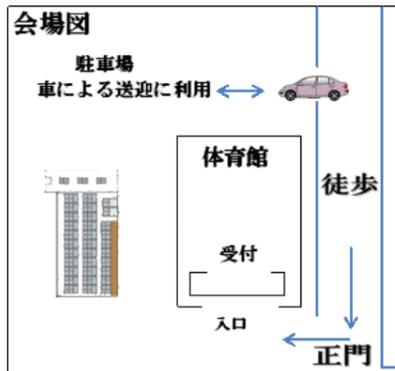
### お祝い品の受け取り方について

- \*お祝い品は本人が会場で受け付けした際に贈られます。市から送られた招待状(案内状)と交換となりますので忘れないで持参して下さい。
- \*身内の代理者や民生委員でも結構です。【敬老会についての問い合わせ】会瀬交流センターへ ☎ 25-1577 (小室 正行)

車での送迎は体育館後ろを使用しますが停車のみで駐車はできません  
ご協力をお願いいたします。係員の誘導に従ってください!!

### 当日の予定

- 9時 受付開始 市からの招待状(案内状)をお持ちください  
☆イス自由席  
☆会場内で市の健康づくり推進課の血圧測定があります
- 9時30分 開会  
☆主催者あいさつ ☆祝辞 ☆褒状贈呈 ☆敬老者代表あいさつ
- 9時50分 子どもの演技  
☆会瀬浜太鼓 ☆おおせ保育園 ☆会瀬幼稚園  
☆会瀬小学校
- 11時30分 お楽しみ大抽選会 (多くの賞品を用意します)
- 12時 閉会



### \*\*お知らせ\*\*

## 会瀬学区コミュニティからの健診のお知らせ (平成26年度)



～今年も忘れずに健康診断を受けましょう!～

- ・16歳から39歳までのかた受診を希望する場合は、健康づくり推進課へご連絡ください
  - ・国民健康保険に加入する40歳から74歳までのかた
  - ・後期高齢者医療制度に加入のかたへ(75歳以上)・生活保護を受給されている方
- 【持ち物】・健康診査受診券・健康保険証・自己負担金(受診券に記載の金額75歳以上無料)

会場	実施日	受付時間	
		午前9:30~11:00	午後1:30~2:30
会瀬交流センター	9月19日(金)	×	○
成沢交流センター	11月7日(金)	○	○
福祉プラザ(旧中小企業センター)	10月30日(木)	○	○
メディカルセンター(幸町)	9月12日(金)27日(土) 10月3日(金)	×	○

\*その他の会場でも集団健康診査を行っています。日程は健康カレンダーP20をご覧ください  
【申し込み・お問い合わせ】日立市健康づくり推進課 電話21-3300  
IP 電話 050-5528-5180

### 消費生活相談

おかしいと思ったら  
すぐに相談しましょう!!

- う まい話を信用しない。
- そ うだんする。
- つ られて返事しない。
- き っぱりはつきり断る。



不安に思ったら相談しましょう!  
(通信・投資トラブル・借金問題など)  
☆日立市消費生活センター  
シビックセンター6階 ☎0294-26-0069

### おもちゃライブラリー 9月開催予定

金曜日 9時30分~11時30分  
9月 5日 12日 19日 26日  
10月 3日

会瀬交流センター 電話 25-1577  
★9月5日子育て相談

### 会瀬地区食生活改善推進会

男性のための料理教室 参加者募集

- 日時：9月17日(水)
- 集合：9時50分 開始10時
- 場所：会瀬交流センター(調理室)
- 会費：ひとり200円
- 内容：簡単にできる料理  
・オムライス・五目酢みそあえ・わかめスープ
- 持ち物：米(半カップ)・エプロン・三角巾
- 募集人数：10名程度
- 申込み先：直接電話で会瀬交流センター ☎25-1577
- 問い合わせ：会瀬地区食生活改善推進会 須田 恵 ☎22-3393



### 【編集後記】

市内で継続して青年会活動を行っているのは会瀬青年会だけです。設立は明治42年(1909年)ですから100年以上の歴史があり貴重な地域の財産といえます。平均寿命が男女とも80歳を超えています。元氣な姿を小学校の児童に見せてください。

\*運動会のお知らせ\*  
\*助川中学校 9月6日(土)\*  
\*会瀬小学校 9月20日(土)\*  
(雨天順延)

### ふるさと会瀬から 青年会と夏まつり

会瀬の夏の風物詩として定着した「おおせ夏まつり」が本年度40回を迎えた。40年にわたっての開催を記念した大型の花火（尺玉）や水中花火の豪華絢爛さは好評を得た。

青年会の若者たちの中で、子どもたちが生き生きと活動する夏祭りは、日立市でもユニークな催しとなっている。40年にわたる開催に日立市長から、おおせ夏まつり実行委員長豊田義幸氏に感謝状がおくられた。感謝状には「地域の歴史と文化の継承及び地域のコミュニティの活性化に努められ住みよいまちづくりに貢献された功績は大である」とある。

第1回の「おおせ夏まつり」は昭和50年（1975年）に開催された。当時の青年会会長今橋武久氏は、盆休みでふるさと会瀬に帰ってきた人が楽しめる地域行事が何もない状態を憂慮し、憩いと交流の場を作ろうと、青年会で話し合い盆踊りを中心とした夏祭りを計画した。青年会が手作りの「やぐら」を現在と同じ場所に設置し、8月14日は「のど自慢大会」と「盆踊り」、15日は「盆踊り」と2日にわたって「おおせ夏まつり」が実施された。資金は現在と同額の300円の景品抽選券付きの協賛券を会員が地域内を家庭訪問し協力をお願いした。第3回までは同じ日程で実施したが、資金や運営に困難が伴ったので第4回から開催を8月14日の1日とし、盆踊りと15分のささやかな花火大会とした。子ども会の協力で子どもたちが作成した「あんどん」も会場に展示した。これ以後「盆踊り」「花火」「あんどん」の組み合わせが定着した。

昭和56年青年会会長、今橋基治氏は夏祭りの開催趣旨を「先人の鎮魂」「住民の慰安」「青少年の健全育成」とし、地域全体の結束を基にした「夏まつり」を提唱した。その結果、会瀬青年会を中核に会瀬学区コミュニティ推進会・会瀬子ども会育成連合会・会瀬スポーツ少年団・会瀬小学校PTA・学区内老人会婦人会などで「おおせ夏まつり実行委員会」が組織された。

このようにして地域と一体化した、手づくりの「夏まつり」が平成26年に40回を迎えた。子ども宝さがしから始まり、やぐらに特設されたステージで会瀬浜太鼓の演奏、そしてやぐらの上での盆踊りのお囃子と、歌い手も会瀬浜太鼓の面々。ステージでの踊り手は学区内の子ども会のメンバーと、次の世代を担う子どもたちが主役の「おおせ夏まつり」であった。

実行委員長は豊田義幸氏、青年会長は斉藤幸次氏、ステージで終始踊りをリードした子ども会育成連合会長の鈴木啓之氏、そして祭りを盛り上げたスタッフの多くは同世代でスポーツ少年団の仲間も多い。「おおせ夏まつり」は住みよいまちづくりやコミュニティの活性化に大きな役割を果たしているのは間違いない。

2年前にプチマトに掲載した文章を利用しました。



### PON友会と子ども会 グランドゴルフで交流

8月18日（月）会瀬小学校校庭で地域のグランドゴルフPON友会のメンバー17名と子ども会育成会4年生から6年生26名の参加で実施しました。

夏休みのひと時を地域の人たちとグランドゴルフを通して交流を図りました。参加した子どもたちは初めてだったけど楽しかったとの感想。



### 命のリレー ～ 救急車が来るまで～

応急手当はあなたの家族を守り、隣人を守ります

7月22日（火）会瀬小学校体育館において防災部主催 普通救命講習会行われました。日立消防署職員による指導で会瀬小職員や地域の人たち31名の参加で実施しました。救命処置の手順として心肺蘇生法（AED使用）などグループごとに何度も確認しながら学びました。



### 友好都市山形県山辺町の子どもたちとの交流

8月9日（土）山辺町の子どもたち44名が「ひたちと宇宙の旅」と題して会瀬青少年の家に宿泊しました。

恒例になった「おおせ元気っ子クラブ」の子どもたち30名が交流を図りました。日立発祥のスポーツ「パンボン」のルール説明を受けて、それぞれダブルスで対戦しました。決勝戦まで仲良くプレーし、大盛り上がりでした。夕食は、茨城県の常陸牛と山形県のお米“つや姫”を使った、友好都市コラボカレーライスは美味しく、鍋が空っぽになるほど好評で山形県の特産ラ・フランスのジュースもご馳走になり楽しい交流のひとつを過ごしました。



### おおせ元気っ子クラブ 郊外楽習 ～東京臨海広域防災公園&東京都庁見学～

8月21日（木）大型バス2台（102名）夏休みの恒例活動郊外楽習は防災体験学習施設「そなエリア東京」と東京都庁を見学しました。

もし大地震が起きたら・・・国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

その72時間をどう生き残るか？都市直下地震の発生から避難までの流れを体験、DSを使って防災クイズに挑戦してきました。また東京都庁の展望台や都議会議事堂を見学してきました。



昼食は公園でおにぎり2個